

## 平成30年度 江東区緑視率調査報告書(概要版)

### 1 調査の目的

平成24年7月に策定した「江東区C I Gビジョン」の達成状況を評価するため、緑視率調査を実施した。

### 2 調査箇所

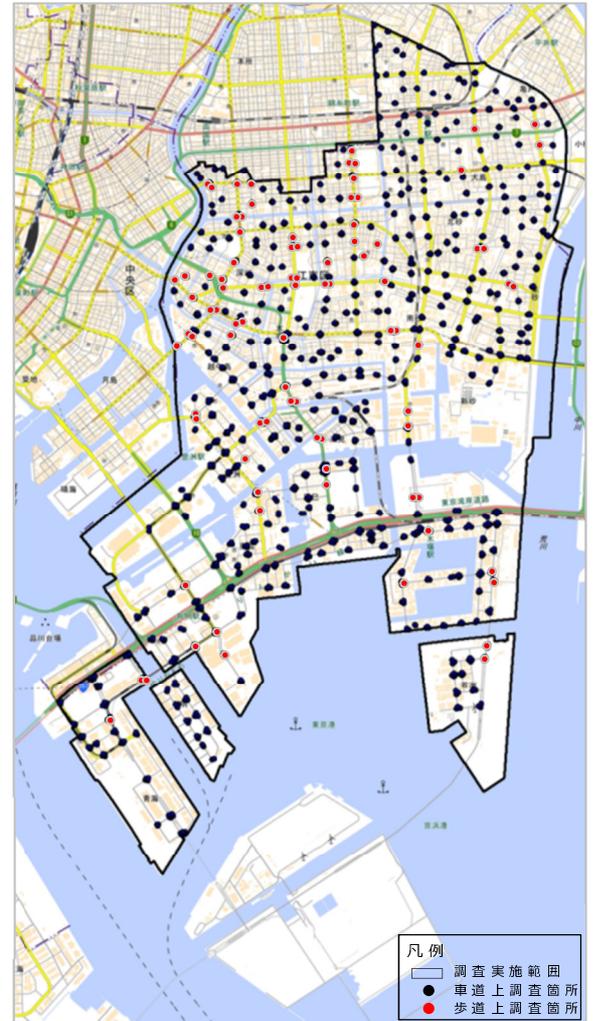
区内全域を250mメッシュで分割し、メッシュ内における主な交差点を調査点とした。前回調査(平成25年度)と同じ車道上1,727か所と、車道上と緑視率が大きく異なる可能性がある歩道上90か所を選定・追加した。

### 3 調査方法

- ① 車道上は交差点から各方向を撮影  
歩道上は車道上撮影箇所から歩道中央へ移動して撮影
- ② 写真に写る樹木や植込み等の緑の面積を計測し撮影範囲内の割合を計算

$$\text{緑視率 (\%)} = \frac{\text{緑の面積}}{\text{撮影範囲}} \times 100$$

- ・ 国土交通省の調査結果によれば、緑視率がおおよそ25%を超えると「緑が多い」と感じる。
- ・ 緑視率が高まると、うるおい、やすらぎ、さわやかななどの心理的効果の向上が期待される。



調査箇所(車道部、歩道部)位置図

車道上



歩道上



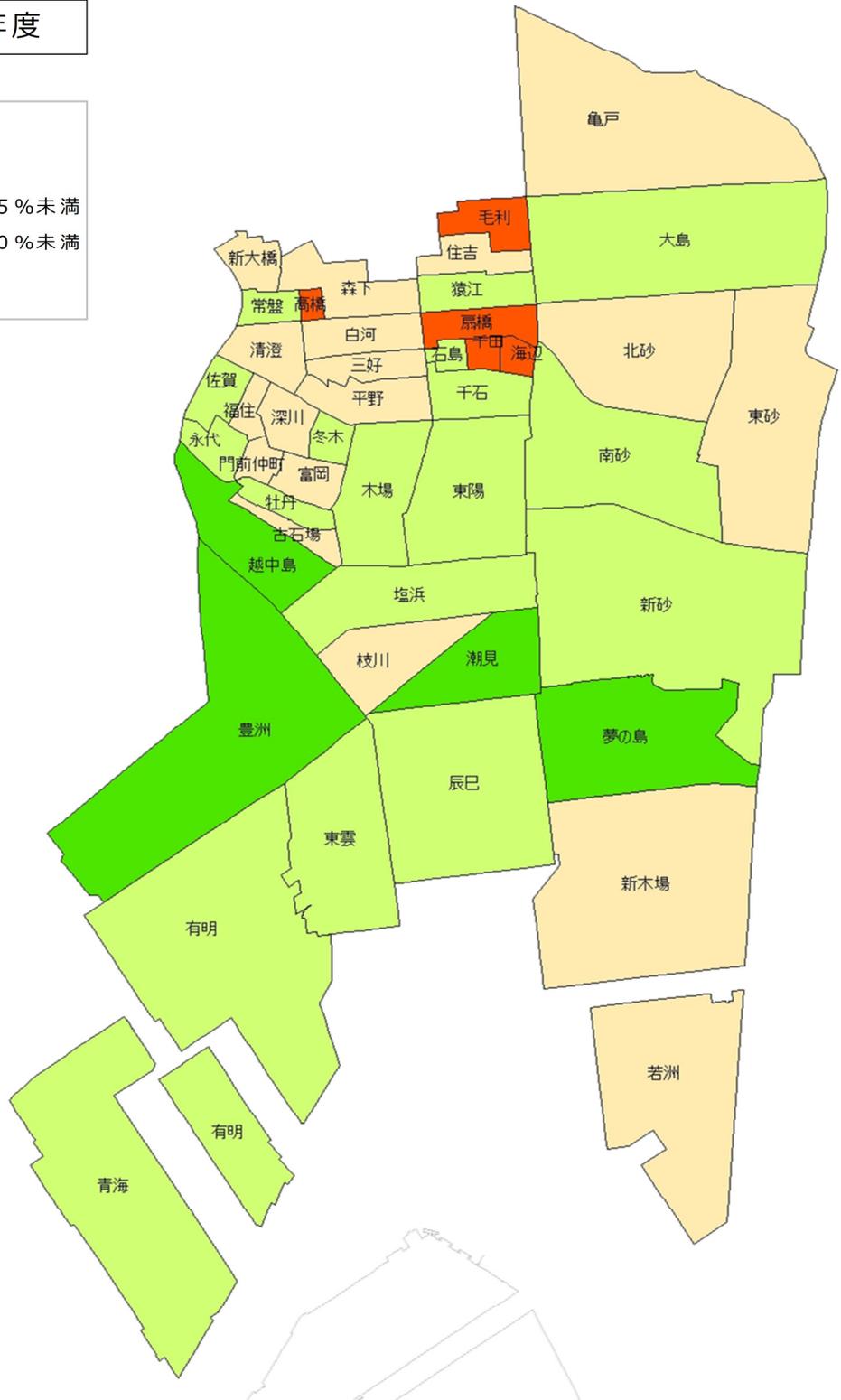
車道上と歩道上での緑視率の違い



平成 2 5 年度

凡例

10%未満
10%～15%未満
15%～20%未満
20%以上



町別平均緑視率（平成 2 5 年度）

〈区全域の平均緑視率の推移〉

**平成25年度 15.4% ⇒ 平成30年度 16.3%**

区全域の緑視率が増加した要因として、街路樹の生長、建築物沿いの接道部緑化箇所の増加が考えられる。

前回



今回



街路樹の生長による緑視率増加の例（青海二丁目）

〈歩道上90か所の調査結果を踏まえた区全域の緑視率〉

歩道上で調査した緑視率を車道上で調査した緑視率と差替えて緑視率を算出した結果、区全域の緑視率は**17.1%**となった。

車道上と比べ、歩道上で撮影した写真に写る樹木や植込み等の緑の面積が増えたことで増加したものと思われる。

車道上



歩道上



車道上と歩道上の緑視率の差異（越中島二丁目）